

平成13年度事務事業評価表

課長	担当

担当	上下水道部	下水整備課	計画担当	内線等	2247
----	-------	-------	------	-----	------

事業コード		事務事業名	下水道施設管理システム構築事業		
根拠法令等	下水道法		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	下水道
-----------------	-----

事務事業の内容

対象	埋設管管理と確認
手段	台帳紙ベースからデジタルベース化にすることによって
想定する成果	台帳の劣化の解消、緊急時の迅速な対応と災害時のためのデータ分散化及び印刷費等の軽減化。

事業の概要

項目	平成12年度実績	平成13年度実績	平成14年度計画
		システム導入に伴う レベル測量委託 1,740千円 配管データ確認	下水道台帳システム導入15,000千円 保守費リース料 750千円 測量委託 3,600千円

目標値

成果指標名	事業進捗率
成果指標の説明	システム累計事業費 / システム全体事業費 × 100 (5年ベース総事業費 55,200千円)

事業の進捗状況

		平成12年度決算	平成13年度決算	平成14年度予算
目標値	計画			54.4%
	実績	0%	3.9%	
事業費	事業費	0	1,740,900	19,350,000
	人件費	0	417,900	8,497,000
	(人数)	0	0.05	1
	合計	0	2,158,800	27,847,000
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	0	2,158,800	27,847,000

事務事業内容の評価

項目	課内評価点数	部長評価点数	評価の説明（問題点）
達成度	6	6	14年度導入に向けて準備作業は完了した。
効率性	6	6	他市のシステムを研究して、合理的、経済的なものを選定した。
公共性	6	10	正確なデータをシステムに導入するため、測量を委託発注した。
緊急度	3	10	システムのデジタル化は時代のすう勢であり、強化地域に指定されたため早急に台帳システムの整備を図る。
小計	21	32	
市民参加度	0	0	管路の確認は今後情報公開を行う予定である。
合計	21	32	
総合評価	B	B	

これまでに実施した改善点

達成度	近隣の市町やセミナー等で資料収集を行い、業者特定に関しては水道と連携を取り合った。
効率性	上水道と下水道で1つのサーバーにするため、コストの低減化を図った。
公共性	統合型GISに準拠した下水道台帳システムにこだわった。
緊急度	早急なシステム実現に向け正確なデータを整えた。
市民参加度	

今後の改善すべき点

達成度	平成16年度までにシステムを構築したい。
効率性	台帳整備が補助事業採択となれば良い。
公共性	今後の情報公開に向けた他課との調整が必要である。
緊急度	災害時に強い統合型システム構築が必要である。
市民参加度	管路の確認は今後情報公開を行う予定。